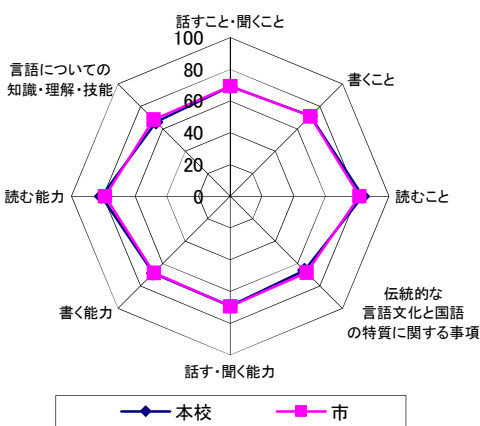


宇都宮市立細谷小学校 第6学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	話すこと・聞くこと	69.2	69.3	73.4
	書くこと	71.6	71.3	74.6
	読むこと	83.5	81.5	81.5
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	66.1	68.1	71.6
観点別	話す・聞く能力	69.2	69.3	73.4
	書く能力	68.5	68.1	71.7
	読む能力	81.1	78.8	79.0
	言語についての知識・理解・技能	66.1	68.4	72.0

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	・本校の正答率は、69.2%と市の正答率とほぼ変わらない。 ・話し方の工夫を考えながら、話し合いの内容を聞く問題では、86.9%で、市の正答率が85.7%を1.2ポイント上回った。 ・司会者の役割を理解して、計画的に話し合うことに関する問題の正答率は、90.5%と市の正答率を下回った。	○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの ・話し合い活動の中で、司会者の役割についても理解を深める必要がある。 ・司会者だけが話し合い活動での役割を理解するのではなく、司会者以外の児童の意見も必要であることをよく理解する。 ・話し合いの内容は、学級の中での共通の話題にしたり、児童が関心のもちやすいテーマを設定したりするなど、必要に応じてアドバイスをしながら、進められるようにする。
書くこと	・本校の正答率は、71.6%で市の正答率なのでほぼ変わらない。 ・グラフの内容を読み取って、文章に適切に書き表す問題では、55.4%で、市の正答率を若干下回った。 ・指定された長さで文章を書く問題では、75.0%で、市の77.0%をやや下回った。 ・2段構成で文章を書く問題では、66.7%で、市の正答率75.3%を大きく上回った。	・作文指導においては、メモをもとに書く事柄を整理し、理由や根拠を具体的な例を挙げて表現できるように練習していく。 ・文章表現については、間違った表現を使っていないか、文法は合っているか、自分で添削ができるようにする。 ・書くことに慣れるように、普段から指定された長さで文章を書いたり、2段落構成で文章を書いたりして、練習を積み重ね、意欲を高めていく。
読むこと	・本校の正答率は、83.5%で市の正答率81.5%を上回った。 ・登場人物の心情を読み取る問題では、81.0%で市の正答率86.4%を下回った。 ・文章の内容を的確に読み取る問題では、90.5%で、市の正答率84.8%を上回った。 ・目的や必要に応じて、場面の描写と登場人物の心情を読み取る問題では、95.2%で市の正答率を上回った。	・物語文の学習では、登場人物の行動や会話文に注意し、場面ごとの出来事確かめたり、登場人物の気持ちの変化を読み取ったりする学習を繰り返し展開し、登場人物の心情を読み取れるようにしていく。 ・説明文の学習については、段落ごとに詳しく読み取り、小見出しをつけ、段落の関係について図示しながら、理解を深められるように指導していく。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	・本校の正答率は、66.1%で、市の正答率68.1%を下回った。 ・5.6年生の漢字の読み書きの問題は、5年生の漢字を書く項目全てにおいて、市の平均を大きく下回っている。6年生の漢字の読みについては、全ての項目で市の平均を上回っている。 ・言葉の問題では、三字熟語の構成の問題では、91.7%と市の正答率を大きく上回った。	・小学校で習う漢字をプリントやドリルでの復習を繰り返す。特に5年生の漢字が身に付くようにする。 ・言葉の学習では、熟語の構成や同音異字など、語彙を増やし、成り立ちに興味をもてるように指導していく。 ・敬語の使い方では、謙譲語や尊敬語の使い方を日常的に指導し、普段から場に応じた敬語を意識できるようにしていく。